

あなたの決断が舞鶴の将来を決定します



舞鶴市長
多々見 良三



京都府知事
山田 啓二



舞鶴市と府をつなぐ大切なポジション 府議会議員として必要な3つの条件

- 1. 市長と密接な連携をとりながら、しっかりと政策協議ができる人**
明るく輝く舞鶴をつくるために、多々見市長とともに力を合わせ、活躍できる人が必要です
- 2. 国会議員・京都府知事と太いパイプを持っている人**
国や府との繋がりを強く持った人こそ、市民や府民の思いを実現できる大きな力なのです
- 3. 府議会の多数会派議員として行動できる人**
同じ意見を持つ議員が集まったグループが会派で、議員は多数会派に属していることによって、多くの活動機会が与えられます

私達は、舞鶴市にとって本当に必要な人を応援していきます！

本当に知ってほしい府議会の仕組み

多数会派(4名以上)の議員と一人議員の差(違い)とは

(平成26年11月5日現在：定数60名/欠員2名)

会派名(略称)	現職議員所属数
自由民主党京都府議会議員団(自民)	28人
民主党京都府議会議員団(民主)	12人
日本共産党京都府議会議員団(共産)	11人
公明党京都府議会議員団(公明)	5人
京都創生フォーラム(創生)	1人
維新の党京都府議会議員団(維新)	1人

- 一人議員では交渉会派とならないため、代表質問が行えません。また、一般質問も年に1回のみ限定されています。
- 一人議員では、常任委員会も希望の委員会へ所属できず、全委員会に出席することもできないので、府全体の事業を把握できません(特別委員会も同様)。
- 予算決算特別委員会においても、非交渉会派(一人議員)からは、予算・決算に選択して所属となるため、その両方を把握できません。

舞鶴のために働いていただく 府議会議員を選んでください！